

We Love ごじょう

～うちらで何かやろうよ！ 地域のために～

少子高齢化が進み、生活支援・介護予防といった取り組みの重要性が増すなか、住民同士のつながりや助けあいを持っている（地域の福祉力）に注目が集まっています。

今、全国の市町村で地域における支えあい活動（住民を中心とした多様な主体）の取り組みが始まっています。

市民の集いの様子



2018年3月10日（土）に五條市保健福祉センター（カルム五條）で、「お互いさんの助けあいを考える市民の集い」を開催しました。

現在では薄れてきたお互いさま精神ですが、今こそ高齢者も含め住民一人ひとりが社会に参加し、生きがいをもって暮らし続けられる「お互いさんの助けあいがある地域づくり」をみんなで一緒に考えていくことをめざして開かれました。

当日は、市民・福祉関係者約100名が参加、公益財団法人さわやか福祉財団の土屋幸己氏による「みんなで創る新しい支えあい・助けあい」をテーマとした基調講演について、五條市・奈良市・葛城市での実践報告がありました。

参加された皆さんは、地域における支えあい活動の必要性について研修、6月から3回にわたる勉強会で、自分たちにできることやその取り組み方について学ばれました。

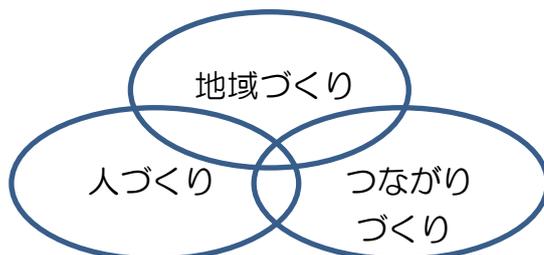
「We Love  ごじょう」は、五條市内の各地域で進められている支えあい・助けあい活動「協議体」の取り組みを市民のみなさんへお知らせするための情報誌です。
※「協議体」の概要については裏面をご覧ください。

協議体ってなあに？

福祉の問題や課題には、専門職や行政において制度サービスを整備しなければ解決できないものもあります。一方、住民の皆さまのちょっとした工夫や助けあい・支えあいによって解決できるものもあります。

しかし、これらの問題は一人で思い、考えていても解決できるものではありません。数人の仲間が集まり住民が行っている活動を知ったり、地域の「あったらいいね」を提案したり、自分たちでできることを「話しあったりする仲間（場）」のことで。

支え上手・支えられ上手を増やします



《生活の困りごと》

- ・電球の交換ができない
- ・掃除、ゴミ出しが大変
- ・買い物に行けない
- ・話し相手がいない・・・

《支えあいづくり》

- ・元気な高齢者の参加
- ・地域の方の協力
- ・住民一人ひとりの参加、協力・・・

各 地 域 の 取 組 み

五條中央地区でふれあいサロンを行っているメンバーにより、地域のことを話し合ったりしています「寿々会」です。今回は防災・避難方法について勉強しました。



5年後 10年後の住みよいまち

づくりをみなさんと一緒に考えます！



阪合部地区で協議体づくりをすすめていくため、地域の問題や解決方法についてメンバーで勉強会を重ねています。

協議体の名称は「阪合部サポートチーム(ホウノ木)」です。

地域の支えあい活動を

生活支援コーディネーターがお手伝いします！

地域づくりについて一緒に考えていきます

困りごとをお気軽にご相談下さい

みなさんの地域での活動を教えて下さい



五條市の「あったらいいね！」を一緒に考えましょう

※ 生活支援コーディネーターは、五條市社会福祉協議会に配置しています。

【編集発行・問合せ先】

五條市役所介護福祉課（長寿係）
〒637-8501 五條市本町1丁目1番1号
電話 0747-22-4001（内線 292）

【共同編集】

五條市社会福祉協議会（地域福祉係）
〒637-0043 五條市新町3丁目3番2号
電話 0747-24-4152